

安倍政権と報道

—いま、現場から考える—

もちづき いそこ

望月 衣塑子氏

(株)東京新聞社会部記者

日時 9月29日(土) 午後5時より

会場 保険医会館 M&D ホール (大阪市浪速区幸町 1-2-33)



政権の私物化、官僚の忖度によってもたらされた森友・加計学園の設立が明るみになる中、「問題ない」とする菅官房長官に対し質問を連発した望月衣塑子記者。望月記者の奮闘で問題解明が加速したことはすでにご存知の先生も多いかと思えます。

「森友」国有地“大幅値引き”がなぜ行われたのか。文書改ざんがなぜここまで巧妙に行われたのか――。

当日の講演会では、膨大な資料や取材に真摯に向き合う姿や追求力の源泉をお聞きし、政権とジャーナリズムのあり方について考える機会となれば幸いです。

望月衣塑子氏 プロフィール

1975年東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒。千葉・埼玉などの各県警、東京地検特捜部、東京地・高裁を担当後、整理部・経済部を経て社会部へ。主な著書は『『武器輸出』大国ニッポンでいいのか』（共著）、『武器輸出と日本企業』、『新聞記者』、『追求力』、『THE 独裁者』など著書多数。2017年に平和・協同ジャーナリスト基金賞奨励賞を受賞。

※定期総会のご案内は往復はがきにて別途お送りします。

主催 大阪府保険医協会 電話 06-6568-7721

連絡先(FAX)06-6568-2389 (総務部・上中/姜)

第 57 回定期総会記念講演に 参加します () 人

懇親会に 参加します () 人

※懇親会は事前申し込みが必要です。

地区 () お名前 ()